京城日報 (一) 大正九年八月十九日 木曜日

社説

朝鮮の時局は
益々險惡化せり
當局者は如何に之に處せんとするか

（中）

朝鮮人は久しく武斷政治の壓力に[illegible]して不平を抱けり、[illegible]外には[illegible]……

[illegible]

殖民地概說（四）
拓殖局[illegible]

第四節 殖民地の法制
第一節 關東州に於ける立法

[illegible]

第二節 租税

[illegible]

第三 財政

[illegible]

ヒマラヤ山へ
一日一人（三十五） 卜部衞生課長

[illegible]

創作 逆流（十七）
森 激波

[illegible]

（二） 大正九年八月十九日 木曜日 京城日日新聞 第四百十七號

内外電報

波露決戰を開始す

（倫敦來電）

過軍ワ市攻擊開始

（ワルソー來電）

露獨同盟を企畫す

（倫敦來電）

南露政府承認

佛國政府の宣言

（巴里來電）

對露講和益困難

（巴里來電）

八市に獨立政府

（東京來電）

米艦隊黒海派遣

米國は在留民保護の目的にて艦隊を黒海に派遣せり（倫敦來電）

希臘に騷亂勃發

希臘に重大なる[illegible]勃發せり（倫敦電）

波蘭代表ミンスク着

[illegible]波蘭代表者一行ミンスクに到着せり（倫敦來電）

歐州勞働者焦慮

波蘭援助防止策

（巴里來電）

東三省擾亂陰謀

新銀行團通牒

（北京來電）

東支沿線支軍活動

（哈爾賓來電）

農業統一機關設置

（東京來電）

支那國會中止

（北京來電）

三總長就任確定

（北京來電）

當選無期判決

（秋田來電）

定例閣議開會

關税令改正に就て

[illegible]

王日本に亡命

（北京來電）

朝鮮電興回復

東拓救資二百萬圓
結局最高幹部更迭

市場許否詮衡

内地石炭業者合同
炭價直下協議
船舶運送業も參加

總督府豫算
略出揃ふ

綿絲布界近況

警務局秘密會

全州たより

（全州）

黄海金融組合状况

人事

風塵錄

漢江の洪水及治水策（一）

本間孝義氏

[illegible]

商況

朝鮮銀行券 八月十七日

日銀帳尻 八月十六日

内地金利 八月十七日

京城手形交換 八月十八日

[illegible]

仁川期米特電

八月十八日前場

八月十八日後場

[illegible]

東京期米特電

八月十八日前場

[illegible]

大阪期米特電

八月十八日後場

[illegible]

京株市場出來値（十八日）

[illegible]

於京城公會堂本社主催講演會

慘虐なる赤軍の毒手を脱する迄

終始血と汗に彩られたる大朝特派員中平氏苦心談

從軍許可證とピストルを見

勞農政府の軍隊を見た

累々たる死屍を豫想した私は

ピストルに彈丸を込め

服裝の立派な美人があつた

虎疫患者を收容する巡査を敲き殺せ

頑迷な鮮人の一騷動

セブランス病院前の混雜

靴一足が卅五萬留

高い高い歐露の物價

山公へ脅迫狀の送主は失戀の發狂人

京城虎疫 稍減少の傾向

まだ々々安心を免されぬ

北鮮地方 流行區域擴大

仁川の防疫 愈々嚴重

コレラと間違へて大騷ぎ

豫防注射施行注意

醫生の活動

猫（九）

柳の桃太郎のやうな

コレラ講座（二）

感作ワクチンの起原

吾國では何時何處で採用し始めたか……

生理的の食鹽水と〇、

宮内省の傳染病研究所

經驗に

勇敢なる憲兵上等兵

不逞支那人に刺され尙且つ兇漢を斃して殉職す

賊情偵察

一突抉り

俄成金の奉天軍

戰利品は三箇師團分ある

有繫綠林出身だけに一兵卒でも一萬元を占めた

精鋭な

大成功

金品を

脫監兵の泥棒

空巢覗ひの賊

線路崩壞

運動界

小説 照手姫 (四十七)

旭亭 渡山口 画

音羽の長者が屋敷

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館

「人間タンク」

「江戸龍」

喜樂館

壩直之跡巡遊記

赤垣源藏

ナムバーワン

戀慕流し

壽館

移轉

琴、三味線

米川樂器店

京城本町三越呉服店前 電話二八三六番

朝鮮郵船

元山出帆

釜山出帆

仁川出帆

木浦出帆

朝鮮郵船株式會社

古本高價買入

群書堂

やせたき方 害なくほどよくやせる療法

コレラ豫防に

登錄商標許可濟

・ヒタクトンミヨ・

地下タビ

赤心堂石井商店

銘酒 一鶴

本莊酒店 電話六五四番

京染 悉皆 本場 呉服商

越後屋商店

野水清太郎

弊商會經營京城廣州間乘合自動車は過般の大洪水にて道路破壊個所多く候爲當分開通の見込無之候然るに各位の御不便不尠依つて當分間京城纛島間毎日數回往復運轉仕り候に付御愛顧被下度奉願上候

大正九年八月七日

京城黄金町黄金館前

近田商會自動車部

クリーニング洋服丸染

總督府御用達

澤 西洋洗濯所

苛性曹達一切使用セズ

京城北米倉町七〇番地 取次 電話一八九四番

イケダ小兒内科病院

京城三越呉服店前へ入る南山町一丁目 電話

蒙古通信社長 眞繼義太郎著

新刊 蒙古見物

三六版 總クロース製本箱入 本文ポイント組三百十二頁

人生としての蒙古 佛教國としての蒙古 藝術國としての蒙古 原始國としての蒙古 戀を中心としての蒙古

蒙古の旅行より

鄭家屯より開通まで

三千年前の太古時代、原始生活に分け入つたやうな風物と情調にある蒙古旅行は人生行路の一部分である。本書は人生の一部分としての蒙古に對する僞らざる著者の感激と批判とを赤裸に告白したる藝術的作品である。

取次店 京城太平通二丁目 振替京城五三三六番 釜山日報京城代理部 電話三一五三番

宮内省御用達

山邑酒造株式會社醸造

山邑酒造株式會社京城支店

サクラ正宗

懷中常備之良劑 消化妙消

朝鮮 人參丹

製造本舖 京城黄金町三丁目 東洋製藥株式會社

最新刊

蒙古通信社長 眞繼義太郎著

演説武者修行

附―政界游泳錄―我が雄辯

東京 先進堂發行

四六版布製 百八十八頁 總ルビ附 定價壹圓 送料拾錢

天下を取るの術、昔は劍を按じて起ち、今は三寸の舌を以て空しく水泡に歸した著者は、心機一轉、今は大陸の奥、蒙古に耽る。本書は著者半生の棚卸し、懺悔錄とも申すべき歟。後の志を同じくする人々の爲に、此の一本を作る。

取次店 京城府太平通二丁目 振替京城五三三六番 釜山日報京城代理部

人間一生の一大事御參考迄に

▲コレラ軍京城に侵入す!!

▲ポートワインを召上れ!!

生命を重ずる人は腸胃の殺菌力強き 佛國マーコン會社醸造(一升金參圓)

ハカリ賣一合金參拾錢五合以上配達仕リ候

電話二五〇八番 御呼出願奉る

發賣元 京城本町五丁目 丸富商店 電話二五〇八番

京城 嶋屋製

最上醬油

品質第一

多や古味噌